

産学連携実績紹介フォーム

1. 講座の計画から実施までの情報

教育機関名 (学校名・学部学科等)	産業能率大学 情報マネジメント学部	実施時期	2013 年度(後期)
対象学年・学期・人数	3・4年生履修登録者 50名		
講座名	情報サービス産業研究(選択 半期 2 単位)		
連携企業・団体	一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会		
支援・連携の類型	連携団体の作成テキストにより講座を実施(講師派遣型)		
講座の概要・特徴	<p>SEの仕事について講師の経験を踏まえて解説し、理系・文系さらには男女を問わず、IT業界を進路選択の一つとして視野に捉えて考察する場を提供する。</p> <p>講義は、協会で編纂した手引き書(SEハンドブック)を元に、担当講師が独自に作成した教材を使った授業でSEの仕事に理解を深め、さらに講師自身の経験に基づく業界の話を受講生に紹介することで、業界の現状を正しく伝える。</p>		
連携の狙い、目的・目標	協会に所属する企業から講師を派遣し、実際の業務から得られた経験を基に講義することによって、履修者は知識の取得だけでなく、現在のソフトウェア業界の実情を知ることができる。また、現状に即した情報を入手することにより、将来の職業選択の指針を得ることができる。		
連携にあたっての課題・懸念	講師が期待する学生像と、現実の履修生の関心・意欲とのギャップをどうするか。		
講座の位置づけ 既存講座との関係	本科目は、神奈川県情報サービス産業協会との連携による情報サービス産業界の認知・理解を目的とする講義科目である。本科目と同様に、協会の会員企業の協力を得てプロジェクト形式で行われる「情報システム実践演習」が開講されている(3・4 年次対象集中)。		
履修前提条件	特になし		
授業準備と実施の体制	<p>スタート前</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 神奈川県情報サービス産業協会との打合せ ➢ 講師レジュメをまとめたテキスト(「情報サービス産業研究ワークブック」)の作成協力 ➢ 講師依頼等事務手続き <p>講義期間(担当教員 2 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 一週間前 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 次回講義に関する質問を書かせ、集約して次回講師に連絡 ✓ 学生に記入させる設問項目を講師から確認 ✓ 神奈川県情報サービス協会から講師レジュメデータを受領 		

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当日 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 受領済みレジュメデータを教員用PCにセット・配布物があれば準備 ✓ 講義終了後に学生のアンケート用紙(講義に対する理解度・感想、次回講師への質問など記入)を回収し、コピーを協会・担当講師へ一部ずつ送付(講師宛には個人情報のカット) ✓ 講義の様子を大学ホームページに掲載 ➤ 講義期間の後半(1月中旬から後半)に、本科目の拡大企画として、講師所属企業の協力による学内合同説明会を開催。 <p>講義終了後</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 神奈川県情報サービス協会を通じた担当講師との振り返り
--	---

成績評価の方法	非公開
---------	-----

講座の構成(シラバス)	単元と時間配分 (1コマ=90分で実施)	演習・実習	実施担当・役割分担
	3.支援企業・団体からの情報を参照		

講座ならびに演習・実習の具体的な進め方	90分の講義 講師の資料提示のためのPC・プロジェクター
---------------------	---------------------------------

2. 講座実施後の情報

受講者の声（受講目的、修得目標）	受講学生の多くは、情報サービス産業への就職に関心があり、業界の実態、SE という仕事について具体的に知ることを目的としている。
受講者の感想（本講座で得られたもの）	<p>情報サービス産業界、SE に対する認知面で、一定の成果は出ていると思われる。</p> <p>学生の感想例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェア業界がどういうものか、SE がどのような仕事をしているのかがわかった。 ● SE に必要なスキル(コミュニケーション力、顧客の業界に関する知識など)について知ることができた。 ● 今まで持っていた IT 業界に対するイメージがよい方に変わった。進路選択の選択肢のひとつとなった。 ● 現場での業務のお話や体験談を聞くことができ、参考になった。 ● 就職活動に対してのアドバイスをいただいたのがありがたかった。 ● 自分は4年生で就職活動を終えているが、1 年前に受講しておけばよかったと感じた。
先生の評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 講師所属企業についての情報、講師自身の体験、就職対策に関する話題を盛り込んでいただけると学生の興味が増す。(3 年次後期ということで、就職活動に対する関心・不安が高い時期である) ● 情報システムに関する知識の少ない学生が多いため、より具体的な事例を交えたり、学生の反応を促す進め方を取り入れていただけると、よりわかりやすいのでは。 ● 講師にご負担をかけているが、学生の質問に対する回答に対して、受講生から「非常に参考になる」との声があがっている。 ● 一方通行の講義ではなく、学生の発言を引き出す授業スタイルがより望ましいと思われる。
企業・団体による評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報サービス産業に対する間違ったイメージや偏見を是正し、業界の姿を正しく伝える、という目的はかなり実現してきていると思われる。 ● 本学は「SE 講座」発祥の地であり、キャリア支援の一環としても有効に活用されている。 ● 受講学生は特に「業界の話」に興味を示し、自らの就職活動に積極的に結び付けている。 ● 本学では、本講座と関連づけて「情報システム実践演習」(産学によるプロジェクト演習)を選択科目として設定し、学生の意識の向上を図り、非常に先進的な活動を展開されている
今後の展望（継続に向けた課題）	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報サービス産業界への関心をあげる、就職希望者を増やす(意識の高い学生を増やす)工夫 ● 就職説明会、春休みの就職活動支援への受講者の意識を上げ、積極的な参加者を増やしていく。 ● 講義中の学生の発言・発問を促す工夫。

3. 支援企業・団体からの情報(神情協記入事項)

提供教材・コンテンツ情報	講座名称 : 大学向けSE講座 講義形式 : SE講座講師が独自に作成した教材を元にPPTで講義を行う。		
提供元	神奈川県情報サービス産業協会 (会員企業の認定講師)	費用 (標準価格)	①講座費用(別途調整) ②テキスト有償(SEハンドブック)
支援の目的・目標	SEの業務について講師の経験を踏まえて解説し、仕事内容に理解を深め、さらに講師自身の経験に基づく業界の話により、業界の現状と業界が求める人物像を受講生に伝える。 理系・文系さらには男女を問わず、IT業界を進路選択の一つとして考察いただき、受講生の多くがIT業界に進路を選択をする事を目標とする。		
具体的な支援内容または提供教材の内容	講義は、協会で編纂した手引き書(SEハンドブック)を元に、担当講師が独自に作成した教材を使用し講義を行う。 注記:SEハンドブックの詳細は別紙添付。		
講座実施における企業・団体の役割	下記の14回の講座を団体が提供し、各回の講師は会員企業より認定されたSE講座講師が実施する。 講義 : 01(ガイダンス) 講義 : 02(SEとは) 講義 : 03(SEのマネジメントスキル) 講義 : 04(情報システムの企画と提案) 講義 : 05(システム設計の概要) 講義 : 06(システムテストと運用テストの意義) 講義 : 07(情報サービス産業界の現状) 講義 : 08(データベースの知識) 講義 : 09(ネットワークの知識) 講義 : 10(情報セキュリティと個人情報保護) 講義 : 11(プロジェクトマネジメント) 講義 : 12(SEのベーススキルと関連知識) 講義 : 13(特別講義、システム化事例紹介) 講義 : 14(授業全般の総括とまとめ)		
企業・団体からの推薦コメント	神情協会員企業の中からSE講座講師審査会で資格認定された講師が各回の講義を行う。 講義は、毎回違う講師(企業)がご自身の経験や実績を踏まえて講義を行うため13名(複数企業)の講師の講義を受ける事となる。		

	<p>講師企業には、メーカー系、ユーザー系、独立系等の企業があり、企業規模も大企業から、中小企業さらにはベンチャー企業まで幅広い講師(企業)が担当することとなり、受講生にIT業界の多くの可能性を紹介する。</p> <p>この授業には利用者側の教員も参加頂き、教育に積極的に関与して頂く。</p>
--	---